

将軍吉宗 と 川崎宿名主 田中休愚



徳川吉宗は八代将軍に就任以来、幕府財政の改革を目指してさまざまな施策を実施しました。

これが後に享保の改革と呼ばれたものです。農政では代官所の整備、新田開発の促進、年貢徴収法の改正、治水のための国役金の制定など多くの改革が行われました。

川崎宿名主田中休愚は寛文2年（1662）に武蔵国多摩郡平沢村の名主窪島八郎左衛門の二男として生まれ、長じて川崎宿本陣田中兵庫の養子となり、宝永元年（1704）に本陣名主と問屋を兼ねて川崎宿の運営に尽力しました。その後、正徳元年（1711）に問屋を譲り、江戸で荻生徂徠に学び、享保改革に当たって『民間省要』を著し、将軍吉宗に献上します。

吉宗は休愚を支配勘定並に抜擢し、川方御普請御用に任命して関東各地の治水に当たらせました。また代官として、武蔵国多摩郡・埼玉郡の内3万石を管轄させました。

講演では将軍吉宗の享保改革に触れながら田中休愚やその著作『民間省要』について紹介します。

<講師紹介> 白川部 達夫 氏（東洋大学名誉教授）

専門は日本近世史。著書として『日本近世の村と百姓的世界』（校倉書房、1994年）、『近世の百姓世界』（吉川弘文館、1999年）、『江戸地廻り経済と地域市場』（吉川弘文館、2001年）、『日本近世の自立と連帯 百姓的世界の展開と頼み証文』（東京大学出版会、2010年）など多数。

日時 令和6年3月9日(土)

14:00~16:00

(開場13:30~)

会場 高津市民館 12F 大会議室

(川崎市高津区溝口1-4-1 ノクティ2)

受講料 無料

申込 当日会場で受付(先着100名)

最寄り駅 JR南武線武蔵溝ノ口駅
東急田園都市線溝の口駅

(ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。)

